

下水道 GX の取り組みについて

1. はじめに

恵庭市は、2022 年 6 月、脱炭素社会の実現に向けて、2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

下水終末処理場は、当市施設の中でも多くの電力を消費する施設であり、率先して温室効果ガスの排出量を削減するため、処理場内の未利用地等を活用し発電を行う取り組みを進めています。この度、発電事業者の選定を行い概要がまとまりましたので報告するものです。

2. 公募型プロポーザルの実施概要

(1) 事業名 恵庭下水終末処理場オンサイト PPA 事業

(2) プロポーザル実施期間

- ・参加表明期間 令和5年11月24日～令和5年12月25日
- ・提案書の受付 令和5年12月22日～令和6年3月8日
- ・プレゼンテーション 令和6年3月19日
- ・候補者選定結果通知 令和6年3月26日

(3) 参加者表明書提出者 3者

(4) 主な評価項目

確認事項	主な評価内容
技術提案内容	・温室効果ガスの削減効果 ・事業の実現性及び信頼性、周辺環境の影響など
実施体制	・施工体制、スケジュール、維持管理体制の妥当性 ・事業実施中のリスク対応、市内企業の関与など
実績	・これまでの類似事業の実績など
経済性	・電気単価、収支計画の妥当性
その他独自提案	・地域特性、電力需要、イメージアップ等を踏まえた創意工夫提案

GX(グリーントランスフォーメーション) ～ 温室効果ガスの排出原因となっている化石燃料などから、太陽光発電などの再生可能なエネルギーに転換して、経済社会システム全体の変革を目指すこと

3. 事業者選定の結果

優先候補者	(株)エネコープ
計画発電量	約 27 万 kwh／年 (年間使用量の約9%)
CO2 削減量	約 150t-CO2／年

事業スキームのイメージ



4. スケジュール(予定)

令和6年 7月	基本合意書締結済み
10月以降	工事着手
令和7年 2月頃	本契約（供給開始時期の目途がついた時点で）

※令和7年度当初に発電事業の開始を目指す。

恵庭下水終末処理場 太陽光パネル設置計画

